

わ

が

街

わ

が

故

郷

NTN株式会社と長野県箕輪町

山麓にある製作所の正面には南アルプスが聳え立ち、雨上がりの朝などは一段と空気が澄んで山の稜線が鮮やかで美しい。南信州の中央アルプスと南アルプスの山々に抱かれ、中央を天竜川が流れる河岸段丘地である伊那谷、その北部に位置する長野県上伊那郡にある、NTN株式会社の精密工場である長野製作所と箕輪町についてご紹介させていただきます。



長野製作所正面写真

【事業場の紹介】

NTN(株)長野製作所は、1984年に(株)東洋ベアリング長野製作所として設立され、その後1989年にNTN(株)と合併し、現在に至っています。

美しく豊かな自然に恵まれた箕輪町に位置し、自然林を残し並木りんごも収穫される敷地、その緑の中の工場ですクリーンな環境を生かした高精度・高品質な製品づくりを行っています。クリーンルームなどの精密環境の中で、ミニアチュアベアリング、オートテンショナ、カムフォロア等の機械部品を生産し、精密産業・自動車産業をはじめ、国内外の多くの産業に供給しています。

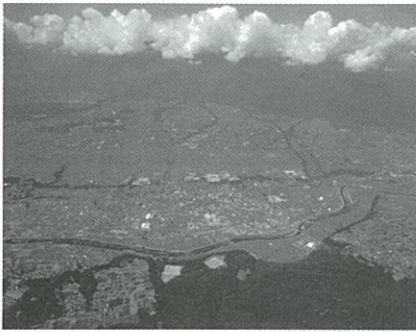
1997年にはISO9000を、1999年にはISO14001の認証を取得し、NTNグループの生産拠点のひとつとして産業の発展に資するとともに、地域に根づいた工場として地域社会にも貢献しています。

【箕輪町の紹介】

箕輪町は、昭和30年に三町村が合併して誕生し、以後人口は増加の一途を辿り、現在では2万6千人を超えています。

歴史を遡りますと、平安時代末期頃から藤原庄という荘園があり、堀川天皇の中宮や関白藤原忠通、近衛家など有力者の間の所領とされていたようです。後、藤沢氏が天竜川東岸段丘にある福与城を根拠にして、箕輪郷を中心に威勢をふるっていました。戦国時代になりますと、甲斐から、諏訪・高遠を攻略した武田信玄が伊那谷へ進攻してこの城に迫り、城主藤沢頼親が籠城奮戦するもむなしく落城しました。この城跡は藤沢氏以降改修をまぬがれ、ほぼ戦国期の原型を今日に遺していることで貴重な城跡とされています。その後、歴史の表舞台としての面影はそれほど残っていません。

近年は、平坦部を中央自動車道、国道153号線が通り、首都圏・中京圏とのアクセスが良い立地条件を活かし、精密産業だけでなく先進開発型企業などの誘致が進み、工業製造品出荷額は1,700億円を超え、県内町村で2番目の出荷額となっており、就業人口のおよそ6割が第2次産業に従事している一面も持っています。



箕輪町全景－萱野高原より天竜川・中央アルプスを望む（東→西）

（箕輪町HP(<http://www1.town.minowa.nagano.jp/>)より）

【周辺の紹介】

季節により表情を変える山々、春は新緑、夏は避暑に相応しい豊かな緑、秋は実りの田が黄金色に波打ち、そばが赤や白の花をつけ、冬は白銀の世界が広がる中、豊かな自然とともに人々の穏やかな暮しがあります。周囲には御柱祭りで有名な諏訪、桜の名所である高遠のような観光名所がありシーズンともなると大勢の観光客で賑わう中で、箕輪町は少し控えめな感がありますが、中央に天竜川、東に萱野高原・もみじ湖、西にながた自然公園、赤そばの里があり、豊かで清らかな水と緑に恵まれ、四季折々の美しさをたたえており、訪れる人の心を潤してくれるところです。

－萱野高原－

箕輪町の東部、伊那山脈の小高い山に開けた標高1200mの景勝地。ゆったりと流れる天竜川、飯田線を走る米粒のような列車、対峙する南・

北・中央アルプスの山々。伊那谷が一望でき、展望台としてはエリアで随一のすばらしさ。夕景、夜景も美しい。付近一帯では春に山菜採り、秋は紅葉ときこの狩りが楽しめる。水芭蕉でも有名。

－箕輪ダム「もみじ湖」－

箕輪ダムは町東部の溪流、沢川を堰き止め1992年に完成。ダム湖の周囲にはもみじ1万本が植栽され、晩秋にはダム湖の青い水に映えて美しい。ダム湖は「もみじ湖」として整備され、公園や広場、キャンプ場は四季を通して賑わいを見せる。上流の沢川は、溪流釣りの好適地。釣りをして静かな休日を過ごす人も多い。



箕輪ダム「もみじ湖」

（箕輪町HP(<http://www1.town.minowa.nagano.jp/>)より）

－信州伊那梅苑－

中央道伊北ICから広域農道を南へ。広々とした畑の中を少し走りNTN(株)長野製作所のすぐ近く、日本随一2万坪の広さを誇る梅苑がある。信州の遅い春は4～5月にかけて梅も桜も桃も一度に咲かせてゆく。展望塔より見る7千本の紅梅、白梅、それに混じってレンギョウの黄色い花、ピンクのしだれ桃（2千本）、水仙が一斉に咲き誇る様は夢のようでもある。背景は残雪の西駒ヶ岳。少し時期をずらせば、八重桜とみどりの桜も楽しめる。写真撮影地としても全国的に有名。

－ながた自然公園－

ながた自然公園は箕輪町西部、中央アルプス

山麓にあり、アウトドアスポーツやレジャーが総合的に楽しめる大自然の中の公園。緑深い森林を駆け巡る涼しい風を受け、木漏れ日を浴びて自然散策や森林浴などを満喫したい。

公園内には日帰り温泉施設「ながたの湯」がある。サウナ、露天風呂、超音波風呂などがあり、肌がツルツルになる美人美肌の湯と評判も高い。大きな窓から遠く南アルプスを展望する温泉は浴槽も大きく快適。

—無量寺阿弥陀如来座像（国重要文化財）—

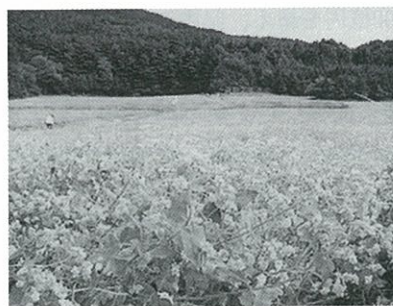
胎内背部に平安時代の様式、書体で記された寄進者の名がある。藤原姓の多いのは、この付近一帯が藤原氏と関係の深い落原庄と呼ばれる荘園であったからと思われる。この期の作例に比べて材が厚手で、総体に彫り口が強いのが特徴。

—松島王墓古墳（県指定史跡）—

推定年代6世紀後半。上伊那におけるただ一基の前方後円墳であり、かつくびれた部分の左右に丸い作り出しの付いた県下唯一の車塚形式の古墳。

—赤そば—そば処留美庵—

そばの原産地である、チベットなどに植生する赤い花をつける原種のそばを日本に持ち帰り、改良して生まれた新種のそば「高嶺ルビー」。



赤そば（高嶺ルビー）

（箕輪町HP(<http://www1.town.minowa.nagano.jp/>)より）

野原一面ピンクのじゅうたんを広げたような赤そばの畑は今では箕輪町を代表する景色の一つに数えられる。このそばを味わう施設として建てられた留美庵では「高嶺ルビー」の赤そばが楽しめる。

（NTN株式会社 長野製作所 後藤 孝二）